

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場会社名 日本曹達株式会社

コード番号 4041 URL <http://www.nippon-soda.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杵渕 裕

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 小沢 史比古

TEL 03-3245-6240

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	58,080	△26.5	443	△88.9	4,209	△41.3	3,003	△44.1
21年3月期第2四半期	79,031	—	3,985	—	7,175	—	5,368	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	19.75	—
21年3月期第2四半期	35.29	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	166,067	78,108	44.2	482.69
21年3月期	168,180	75,341	42.1	464.88

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 73,428百万円 21年3月期 70,721百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	△13.3	3,600	△37.7	9,100	△24.1	6,400	△5.2	42.07

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	154,317,630株	21年3月期	154,317,630株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	2,194,730株	21年3月期	2,190,118株
-----------	-------------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	152,124,765株	21年3月期第2四半期	152,156,618株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 通期の業績につきましては、前回(平成21年5月15日)発表予想を修正しております。詳細につきましては5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報または平成21年10月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 業績予想の数値につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、在庫調整の進展や中国向けの需要回復等により生産や輸出に持ち直しの動きがみられるようになりましたが、失業率が過去最高水準となる等、景気は依然として厳しい状況で推移いたしました。

化学業界におきましても、石油化学製品を中心にアジア向けの輸出が回復したものの、原油価格の上昇に伴い原材料費用が収益を圧迫する等、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと当社グループといたしましては、「中期経営計画（平成19年度～21年度）」における諸施策の一環として、電子材料分野の研究開発を加速するべく千葉県市原市に研究施設「加工技術センター」を竣工する一方、製品の拡販や固定費・経費の削減に積極的に取り組む等、収益の改善に努めましたが、昨年秋口から続く世界的な景気悪化の影響に加え、「化学品事業」においてはPCB無害化処理関連の処理施設売上が減少する等により、当第2四半期連結累計期間における売上高は580億8千万円（前年同期比26.5%減）、営業利益4億4千3百万円（前年同期比88.9%減）、経常利益は持分法による投資利益の計上等により42億9百万円（前年同期比41.3%減）、また四半期純利益は30億3百万円（前年同期比44.1%減）となりました。

#### [化学品事業]

工業薬品は、輸出向け青化ソーダ・青化カリ及びオキシ塩化燐等が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

染料製品は、顔色剤が国内向けを中心に減少し、前年同期に比べ減収となりました。

飼料添加物メチオニンは、輸出向け販売価格の下落等により、前年同期に比べ減収となりました。

スペシャリティケミカルズ製品は、自動車・IT産業向けを中心に販売が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

エコケア製品は、飛灰処理用重金属固定剤「ハイジオン」の伸長により、前年同期に比べ増収となりました。

医薬品・医薬中間体は、抗生物質原体ファロペネムナトリウム等が伸長し、前年同期に比べ増収となりました。

PCB無害化処理関連は、処理施設の売上が減少し、前年同期に比べ減収となりました。

以上により、当期の[化学品事業]の売上高は312億9百万円（前年同期比27.0%減）となりました。また、営業利益は17億5百万円（前年同期比49.4%減）となりました。

#### [農業化学品事業]

国内向けは、天候不順の影響等により殺虫剤「コテツ」が減少したものの、新規芝用除草剤「コンクルード」の販売開始等により、前年同期並となりました。

輸出向けは、除草剤「ホーネスト」が伸長したものの、殺虫剤「モスピラン」、殺ダニ剤「ニッソラン」等の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

工業用殺菌剤は、防腐剤等の減少により、前年同期に比べ減収となりました。

以上により、当期の[農業化学品事業]の売上高は147億6千6百万円（前年同期比12.2%減）となりました。また、営業損失は9億6千6百万円（前年同期は営業利益4億3千7百万円）となりました。

#### [その他事業]

景気悪化の影響を受け、運輸・倉庫部門、建設部門及び非鉄金属他部門の何れにおきましても、前年同期に比べ減収となりました。

以上により、当期の[その他事業]の売上高は121億4百万円（前年同期比37.7%減）となりました。また、営業損失は9千5百万円（前年同期は営業利益5億2千8百万円）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は、受取手形及び売掛金が63億3百万円減少したものの、持分法適用会社の業績が堅調に推移したこともあり投資有価証券が32億5千4百万円増加し、資産合計では前連結会計年度末に比べ21億1千2百万円減少し、1,660億6千7百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が24億2千2百万円減少し、借入金が32億8千5百万円減少したこと等により、負債合計では前連結会計年度末に比べ48億7千9百万円減少し、879億5千9百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は44.2%と、前連結会計年度末に比べ2.1ポイント増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は66億8千3百万円(前年同期比37.1%減)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益36億9千6百万円や売上債権の回収64億2千6百万円等があったものの、非キャッシュ項目である持分法による投資利益38億7千3百万円が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は43億7千2百万円(前年同期比58.9%増)となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出38億1千2百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は45億3千7百万円(前年同期比38.0%減)となりました。これは主として、借入金の減少32億8千5百万円や配当金の支払い9億7百万円などによるものであります。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は152億5千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億7千万円の減少となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済の見通しにつきましては、在庫調整の一巡や対外経済環境の改善により景気は持ち直しに向かうことが期待されるものの、雇用情勢の一段の悪化や原燃料価格・為替市場の動向等が景気を下押しする懸念もあり、なお先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

かかる経営環境のなか当社グループといたしましては、「中期経営計画」の最終年度を今期迎えるに当たり、その重点施策である「コア事業の強化・拡充」「農医薬・機能性材料・精密有機合成分野の高付加価値製品の開発促進」に向けた諸施策の完遂に注力し、今後の事業拡充・事業規模拡大に向けた経営基盤の構築を着実に進めてまいります。

通期の業績に関しましては、前回発表予想（平成21年5月15日）を以下の通りに修正いたしております。詳細につきましては、平成21年10月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、下半期為替レートは1\$=90円を想定しております。

<連結>

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表（A）	140,000	5,100	8,000	5,700	37.46
今回発表（B）	131,000	3,600	9,100	6,400	42.07
増減（B－A）	△9,000	△1,500	1,100	700	－
増減率（%）	△6.4	△29.4	13.8	12.3	－

<個別>

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表（A）	84,000	4,000	5,700	4,000	26.29
今回発表（B）	82,400	3,500	5,400	3,800	24.98
増減（B－A）	△1,600	△500	△300	△200	－
増減率（%）	△1.9	△12.5	△5.3	△5.0	－

<修正の理由>

平成22年3月期通期における個別業績につきましては、農業薬品が国内の天候不順の影響や海外市場における競争激化等により減収となる見通しであること等から、前回発表を下回る見込みであります。

また、同期間における連結業績につきましては、一部子会社において業績悪化が見込まれること等から、売上高及び営業利益は前回発表を下回るものの、持分法適用会社の業績が堅調に推移していること等により、経常利益及び当期純利益は前回発表を上回る見込みであります。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

・会計処理基準に関する事項の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,285	17,543
受取手形及び売掛金	34,503	40,807
たな卸資産	25,350	24,565
繰延税金資産	1,847	1,648
その他	3,142	2,601
貸倒引当金	△14	△247
流動資産合計	80,114	86,917
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,533	16,530
機械装置及び運搬具（純額）	13,377	13,611
工具、器具及び備品（純額）	1,699	1,529
土地	14,785	14,766
リース資産（純額）	873	862
建設仮勘定	1,818	204
有形固定資産合計	49,087	47,503
無形固定資産		
その他	1,224	1,281
無形固定資産合計	1,224	1,281
投資その他の資産		
投資有価証券	29,728	26,473
長期前払費用	532	575
繰延税金資産	1,433	1,527
その他	4,023	3,973
貸倒引当金	△76	△72
投資その他の資産合計	35,640	32,476
固定資産合計	85,952	81,262
資産合計	166,067	168,180

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,686	21,109
短期借入金	36,910	40,111
未払法人税等	311	750
賞与引当金	2,358	2,325
その他の引当金	197	—
その他	6,525	5,848
流動負債合計	64,989	70,144
固定負債		
長期借入金	15,711	15,796
繰延税金負債	1,255	609
退職給付引当金	2,335	2,700
役員退職慰労引当金	425	516
その他の引当金	394	—
その他	2,846	3,070
固定負債合計	22,969	22,693
負債合計	87,959	92,838
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	29,166	29,166
資本剰余金	26,094	26,094
利益剰余金	19,133	17,042
自己株式	△588	△586
株主資本合計	73,805	71,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,248	615
繰延ヘッジ損益	△42	△121
為替換算調整勘定	△1,583	△1,489
評価・換算差額等合計	△376	△995
少数株主持分	4,679	4,619
純資産合計	78,108	75,341
負債純資産合計	166,067	168,180



(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	79,031	58,080
売上原価	62,324	45,834
売上総利益	16,707	12,246
販売費及び一般管理費	12,721	11,803
営業利益	3,985	443
営業外収益		
受取利息	23	8
受取配当金	320	181
受取賃貸料	266	241
持分法による投資利益	3,570	3,873
その他	333	571
営業外収益合計	4,515	4,877
営業外費用		
支払利息	447	423
不動産賃貸原価	187	145
その他	691	541
営業外費用合計	1,325	1,111
経常利益	7,175	4,209
特別利益		
受取補償金	474	—
投資有価証券売却益	20	—
その他	2	2
特別利益合計	497	2
特別損失		
固定資産廃棄損	60	470
事業構造改善費用	—	34
その他	10	11
特別損失合計	71	515
税金等調整前四半期純利益	7,601	3,696
法人税、住民税及び事業税	932	455
法人税等調整額	1,270	189
法人税等合計	2,202	644
少数株主利益	29	47
四半期純利益	5,368	3,003

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,601	3,696
減価償却費	3,766	3,072
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7	32
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△61	△365
受取利息及び受取配当金	△344	△190
支払利息	447	423
持分法による投資損益 (△は益)	△3,570	△3,873
売上債権の増減額 (△は増加)	5,914	6,426
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,864	△740
仕入債務の増減額 (△は減少)	△654	△2,596
その他	676	△179
小計	10,902	5,705
利息及び配当金の受取額	722	2,254
利息の支払額	△446	△439
法人税等の支払額	△554	△836
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,622	6,683
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,523	△3,812
無形固定資産の取得による支出	△67	△47
その他	△159	△512
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,751	△4,372
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,730	△2,200
長期借入れによる収入	2,500	3,500
長期借入金の返済による支出	△4,781	△4,585
配当金の支払額	△913	△907
その他	△388	△343
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,313	△4,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	△116	△43
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	441	△2,270
現金及び現金同等物の期首残高	9,326	17,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,768	15,251

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	化学品事業 (百万円)	農業化学品 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	42,769	16,826	19,435	79,031	—	79,031
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7	176	2,927	3,112	(3,112)	—
計	42,776	17,003	22,363	82,143	(3,112)	79,031
営業利益	3,370	437	528	4,335	(350)	3,985

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	化学品事業 (百万円)	農業化学品 事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	31,209	14,766	12,104	58,080	—	58,080
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	29	168	2,937	3,134	(3,134)	—
計	31,238	14,934	15,041	61,215	(3,134)	58,080
営業利益	1,705	△966	△95	642	(199)	443

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間  
（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高の金額は、全セグメントの売上高の合計の金額に占める割合の90%超であるため、所在地別  
セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	アジア地域	欧州地域	北米地域	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	9,908	4,421	3,397	3,370	21,096
II 連結売上高（百万円）					79,031
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	12.5	5.6	4.3	4.3	26.7

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	アジア地域	欧州地域	北米地域	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	7,076	3,852	1,959	2,567	15,455
II 連結売上高（百万円）					58,080
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	12.2	6.6	3.4	4.4	26.6

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### 連結決算概要

#### 1. 連結業績

(単位：百万円)

	平成20年 第2四半期	平成21年 第2四半期	増減	平成22年 3月期 (予想)	増減 (対前期)
売上高	79,031	58,080	△20,951	131,000	△20,021
営業利益	3,985	443	△3,542	3,600	△2,182
経常利益	7,175	4,209	△2,965	9,100	△2,895
当期純利益	5,368	3,003	△2,365	6,400	△351

#### 2. セグメント別 連結売上高・営業利益

(単位：百万円)

		平成20年 第2四半期	平成21年 第2四半期	増減	平成22年 3月期 (予想)	増減 (対前期)
化学品事業	売上高	42,769	31,209	△11,559	65,400	△10,756
	営業利益	3,370	1,705	△1,665	2,800	△302
農業化学品事業	売上高	16,826	14,766	△2,060	37,600	△1,064
	営業利益	437	△966	△1,404	1,400	△2,325
その他事業	売上高	19,435	12,104	△7,331	28,000	△8,200
	営業利益	528	△95	△623	△200	119
合計	売上高	79,031	58,080	△20,951	131,000	△20,021
	営業利益	3,985	443	△3,542	3,600	△2,182

#### 3. 主要指標

	平成20年 第2四半期	平成21年 第2四半期	増減
為替レート (円/\$)	104.3	95.3	△9.0
設備投資額 (百万円)	2,416	3,334	918
減価償却費 (百万円)	3,766	3,072	△693
研究開発費 (百万円)	2,638	2,674	35
1株当たり四半期純利益 (円)	35.29	19.75	△15.54
総資産 (百万円)	168,839	166,067	△2,772